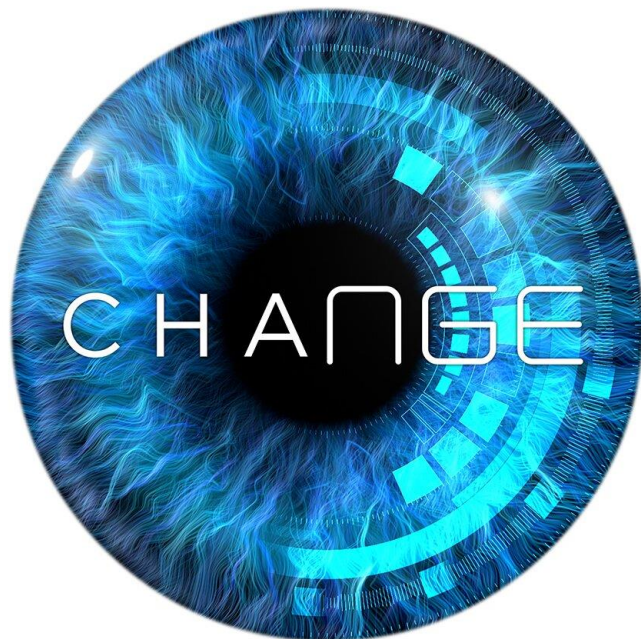


# Deloitte.

デロイト トーマツ



## サービス紹介

スポーツ向けタレントマネジメント

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社



# 目次

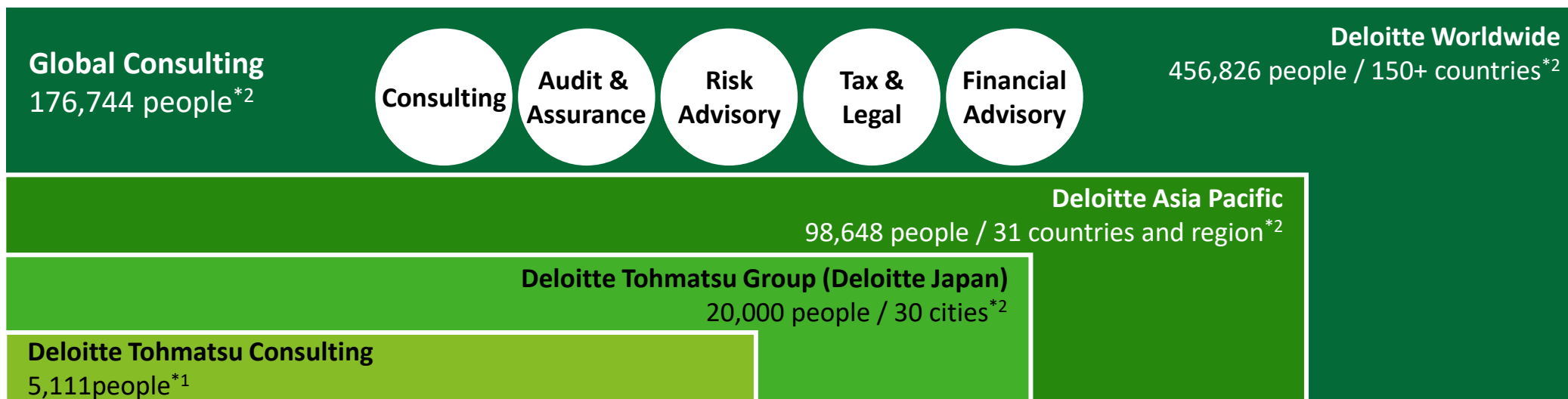
会社紹介	3
“スポーツ向けタレントマネジメント”とは	8
機能紹介	13
導入までのスケジュールとプラン	21
Appendix	25

# 会社紹介

# 未来を創るビジネスを、全世界150カ国に45万人を超えるエキスパートと

## 会社概要

デロイト トーマツ コンサルティングは、デロイトの一員として日本のコンサルティングサービスを担い、提言と戦略立案から実行まで一貫して支援するファームです。クライアントの持続的で確実な成長を支援するコンサルティングサービスはもちろん、社会課題の解決と新産業創造でクライアントと社会全体を支援します。



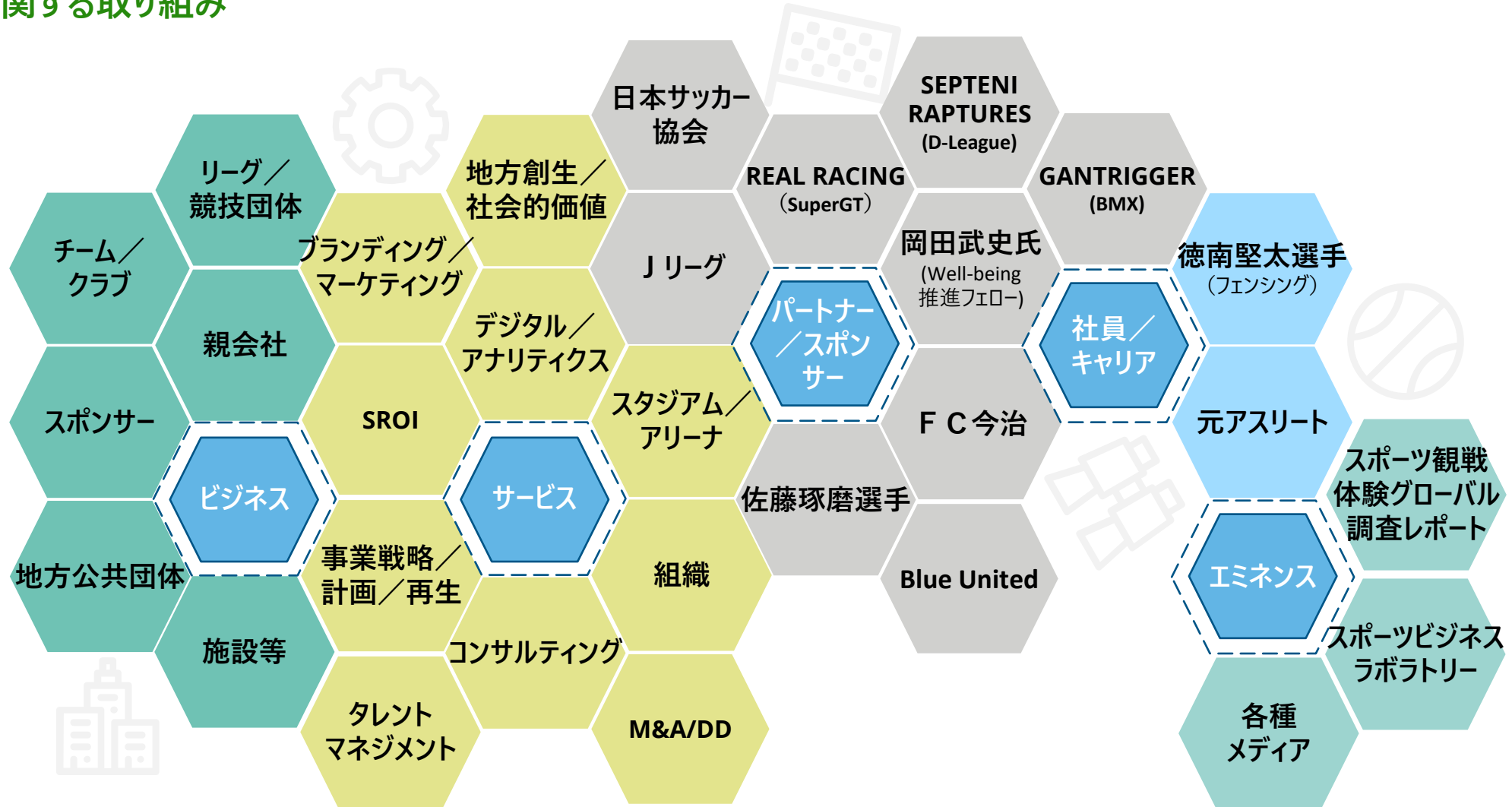
社名	デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社	設立	1993年4月
本社所在地	東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビルディング	資本金	5億円
代表者	代表執行役 神山 友佑、長川 知太郎	人員数	5,111名 (2024年5月31日現在)

\*1：2024年5月31日現在

\*2：2023年5月31日現在

# DTCのスポーツビジネスグループでは、グローバル／グループと連携し、多様な取り組みを展開しています

## スポーツに関する取り組み



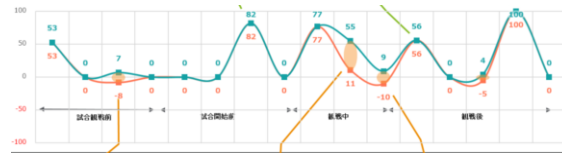
2024年6月時点

# スポーツエコシステムとの直接・間接的関係に限らず、地方創生やアスリートのセカンドキャリア、教育などの社会課題の解決において多くの支援、コラボレーションを進めています

## スポーツに関する活動実績

### スポーツ観戦体験の向上

- 顧客体験向上のコンサルティング知見を活かした日独米のスポーツ観戦体験の比較分析
- 同手法を用いたF C今治での調査・分析
- Jリーグにおいて、コロナ禍における観戦者の調査・分析



### キャリア

- アメリカにおいて退役軍人のデジタルスキル取得によりデジタル人材不足の社会課題を解決したプログラムを日本でも実施



### スポーツのDX推進

- 日本ハンドボールリーグにおいてデジタル施策実行をサポート（トラッキングシステムを活用しリアルタイムで選手のパフォーマンスデータを可視化し顧客体験を向上）  
(2020-21シーズン、2021-22シーズン)



### データを活かした競技支援

- スポンサーしているスポーツチームや選手とデジタルアセットを共同開発しデータの可視化を実現、そして競技力向上支援を実施 (e.g. Indycar - 佐藤琢磨選手、Super GT - REAL RACING、BMX - GANTRIGGERなど)




### 環境教育コラボレーション

- 今治. 夢スポーツとデロイトトーマツグループで小学生向けの環境教育冊子を作成
- SDGs普及促進を担う動画制作





# Lead the Sportsとして、スポーツの持つ価値をより高め、スポーツを繋ぎそしてスポーツの枠を超えた新たな価値の創造を目指した活動を進めています

## スポーツで新たな価値を共創

 Sports Transformation (SX)  
新たなビジネスモデル、次世代スポーツ観戦体験検討



 異なる競技間、スポーツ業界と他業界等の交流を通じた可能性の拡大

 地方創生、Well-being等スポーツの枠を超えた新たなスポーツの価値創造

# “スポーツ向けタレントマネジメント”とは

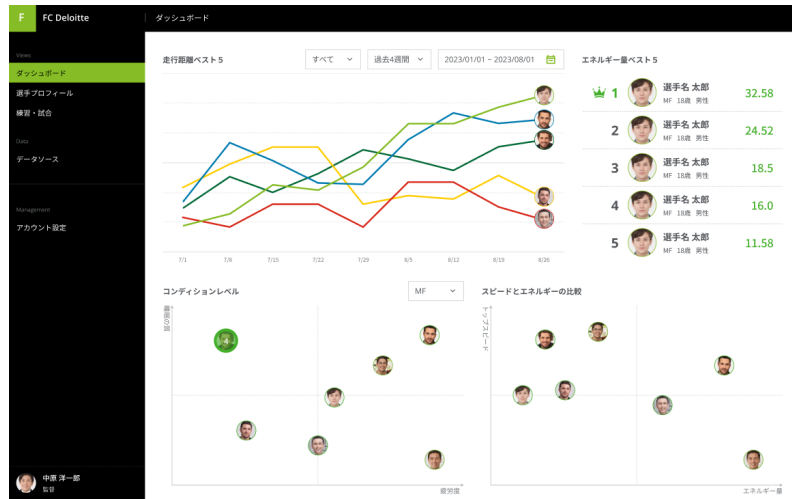


# スポーツ向けタレントマネジメントは、企業における社員マネジメント手法をスポーツに置き換え、アスリートを育成・評価・管理し、チームパフォーマンスを持続的に最大化する手法です

## 全体像

### 分析・発掘

- 蓄積されたデータから成長推移や分布図を表現し、埋もれがちな“潜在能力”を発掘



### 評価

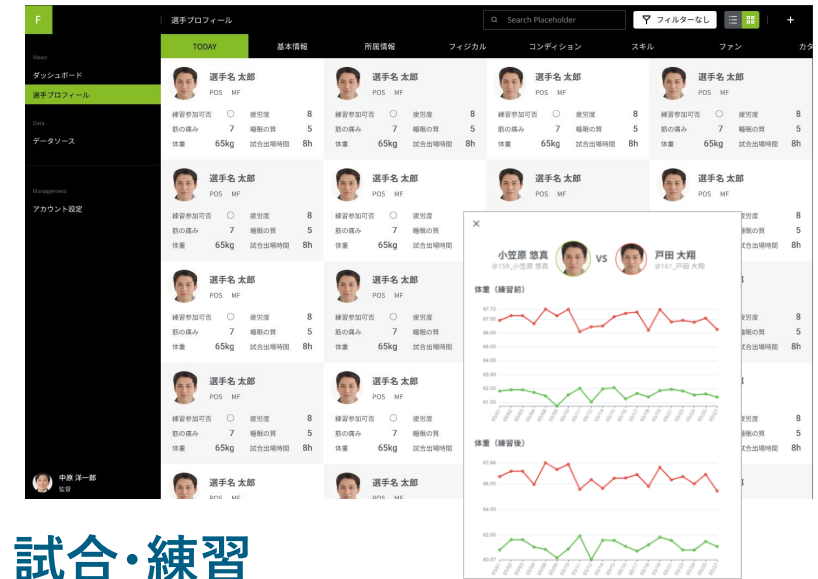
- 試合スタッツ以外の様々な絶対値も活用し、客観的かつ多角的な評価をサポート

## Sports Athlete Talent Management



### ポジショニング・育成

- 選手一人ひとりのデータから適正、成長ポテンシャルを見出し、個別に育成計画を立案
- チーム内での最適な役割と配置を科学的に検討



### 試合・練習

- コンディション、体組成情報からスターティングメンバーを選抜
- パフォーマンスデータを基にした詳細な試合後分析

# 持っている・集めやすいデータに合わせて項目をカスタマイズしてデータを1か所にまとめることで、収集や可視化作業が簡略化し、誰でも、いつでも必要な情報にアクセスし活用できます

## 利用イメージ①：業務の効率化



監督

必要なデータが集約されているから、いちいち探しに行く必要がなくなる！



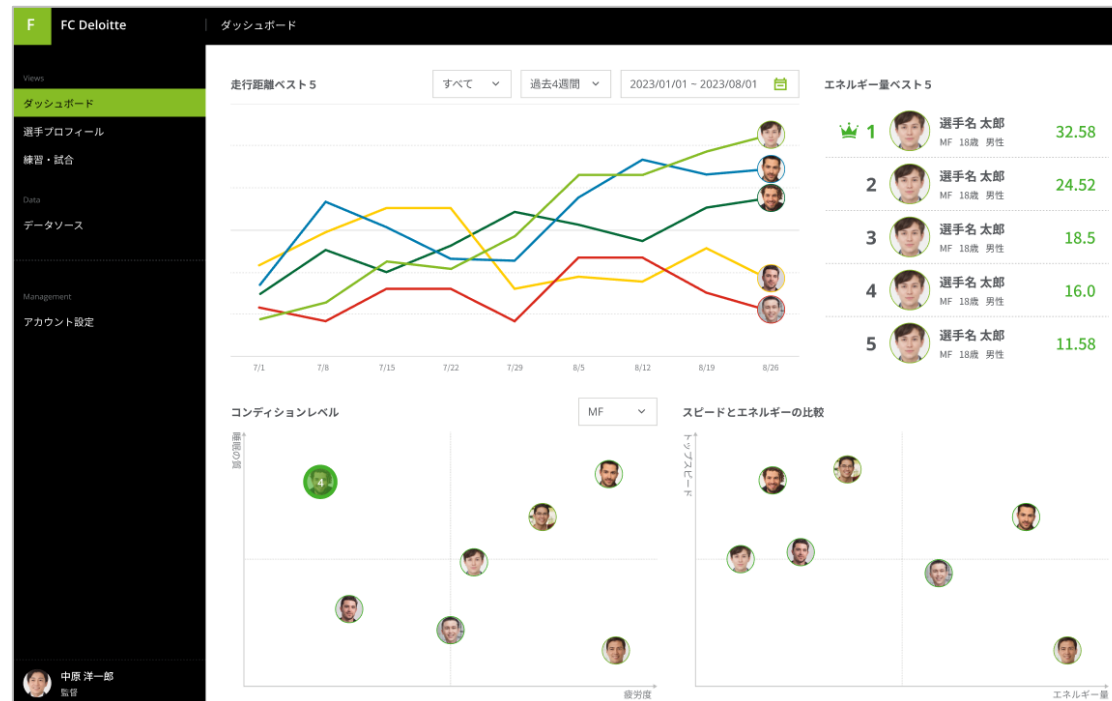
選手

監督やスタッフに頼まなくても、自分で必要なデータが見れる！



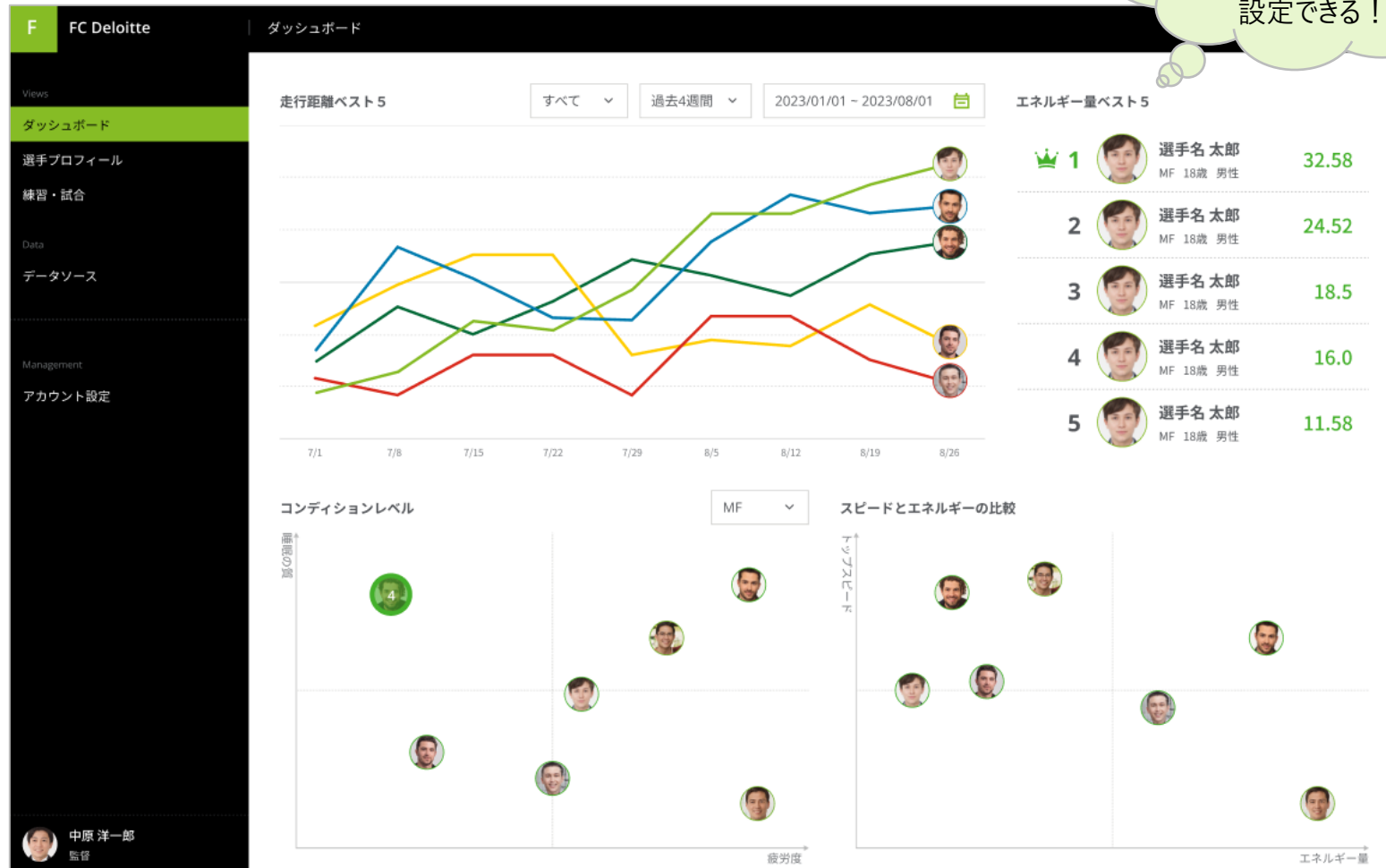
スタッフ

今持っているデータから登録して、徐々に増やしていけば、急な負担増加もなくて、現実的な運用ができるなあ



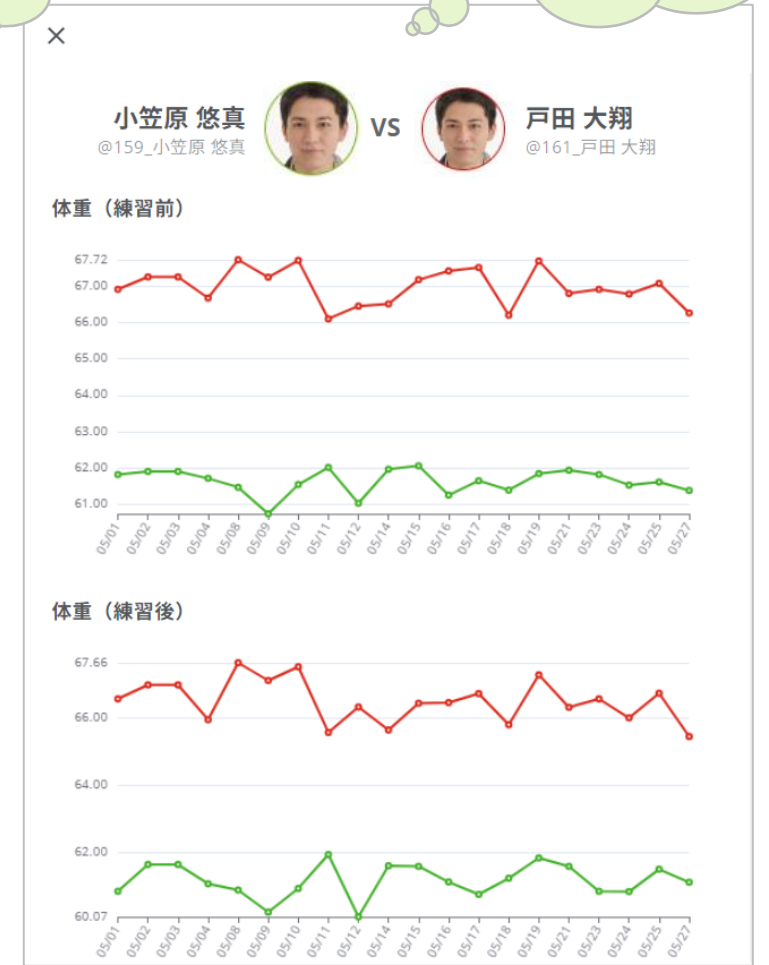
# 目標の選手サンプルデータと現在の選手データを比較し、足りない要素を可視化することで、育成プランの計画に役立てることができます

## 利用イメージ②：選手の育成



理想のチーム像から、選手に求める目標をデータに基づいて設定できる！

目標とのギャップから伸ばすべき要素がわかりやすい！



# 選手単位で情報を管理・可視化します 他選手との比較機能を使うことで、より選手の“個性”を把握することができます

## 利用イメージ③：個人のパフォーマンス最大化



スタメンの選手よりサブの選手の方がコンディションが良さそう

自分のコンディションやフィジカルの変化から、タイムリーに振り返りができる！










※本機能・画像は開発中のイメージであり、変更する可能性があります

# 機能紹介

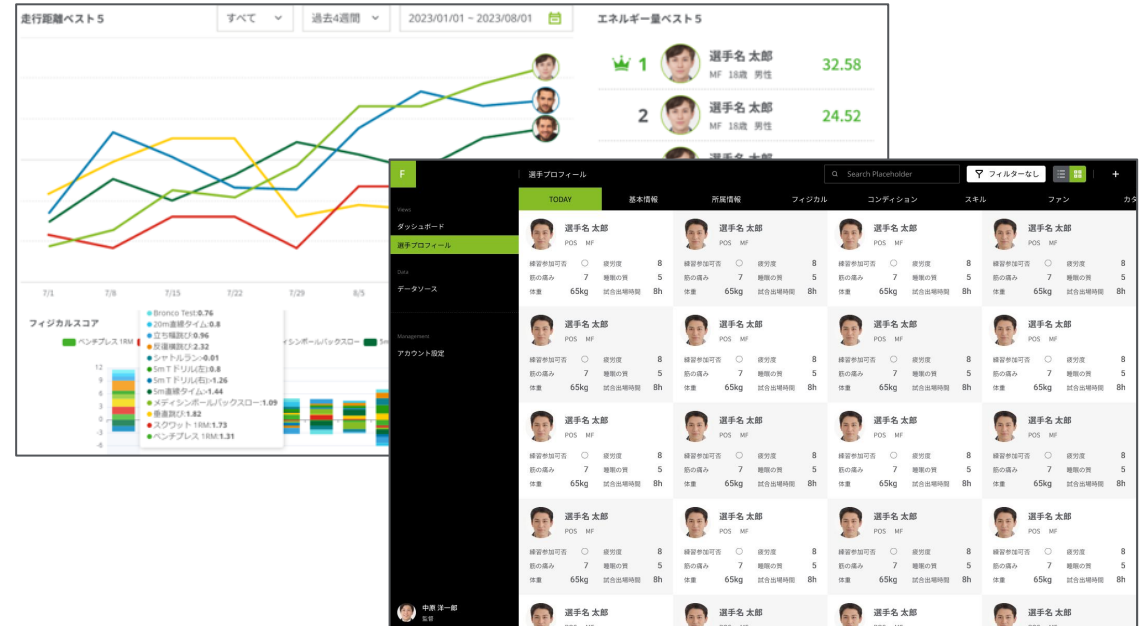
# 選手プロフィール、ダッシュボード、イベントの機能を利用して、各選手やチーム全体の状況を一元的管理・可視化することで、データドリブンの意思決定を支援します

## 現在の機能と将来の姿

### 現在の機能

ベース機能	
<b>選手プロフィール</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アスリートの情報を一元管理・可視化</li> <li>■ スタッフ以外もデータ入力可能とすることで、業務を効率化</li> </ul>
タレントマネジメントの強化	
<b>ダッシュボード</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 監督・コーチへ気づき・ヒントを与える</li> <li>■ 選手の成長率や伸ばすべきスキルを予測</li> <li>■ チームやアスリートの実態を客観的に把握</li> </ul>
<b>イベント</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 試合や練習単位でのデータを蓄積</li> <li>■ 実績を踏まえて、未来の試合や練習を見据えたプランニングを実現</li> </ul>
+α (将来的に拡大予定)	
<b>育成・コンディション管理</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ フィジカルやメンタルといったコンディションデータを選手が入力</li> <li>■ アスリートの現状に応じた意思決定を支援</li> </ul>
<b>選抜・配置</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 選手の強みと弱みを可視化</li> <li>■ ポジションごとに必要な能力・スキルを明確化し、データドリブンの意思決定の実現</li> </ul>
<b>練習・試合</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 練習・試合のスタッフの連携を強化</li> <li>■ 必要な項目をカスタマイズし、ダッシュボード化</li> </ul>
<b>評価</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データに基づいた評価を実現</li> <li>■ ユース生などに対して昇格判定などを支援</li> <li>■ プロ選手に対して能力評価・査定を支援</li> </ul>

- ✓ 選手プロフィールの情報で選手の属性情報を可視化
- ✓ イベントを利用してその時その時の状況を把握
- ✓ ダッシュボードでチームや各選手の状況を可視化



### 段階的に機能を増やしていく予定

→追加された機能も可能なタイミングから利用いただく想定

# データソースにシステムで利用するデータを登録します タレントマネジメントに活用するすべてのデータを集約し、データの一元管理を実現します

## データソース（データインポート）

The screenshot displays the 'データソース' (Data Sources) management interface in TM Lite. The interface is divided into two main sections: a list of data sources and a detailed view of a selected data source.

**データソース一覧 (Data Sources List):**

データソース名	ファイル数	最終更新日時
年次アンケート	1 ファイル	2024/05/29 10:58
試合結果	10 ファイル	2024/05/28 21:00
練習	21 ファイル	2024/05/28 22:21
フィジカル		
身体測定		
体調報告		
メディカル		
ソーシャル		

**データソース詳細 (Data Source Detail):**

紐づいているイベントへのリンク

ファイル名	イベント	ステータス	更新日時	更新者	アクション
スコロピオンズ戦.csv	試合 試合 2024-01-07 00:00	処理済	2024/05/28 21:00	宮地 はな	↓ □
キングス戦.csv	試合 試合 2024-01-14 00:00	処理済	2024/05/28 21:00	宮地 はな	↓ □
ジャークズ戦.csv	試合 試合 2024-02-04 00:00	処理済	2024/05/28 21:00	宮地 はな	↓ □
サタンズ戦.csv	試合 試合 2024-02-11 00:00	処理済	2024/05/28 20:59	宮地 はな	↓ □
デュワーズ戦.csv	試合 試合 2024-03-03 00:00	処理済	2024/05/28 20:58	宮地 はな	↓ □
トリトンス戦.csv	試合 試合 2024-03-10 00:00	処理済	2024/05/28 20:48	DTC Admin	↓ □
トロピカルズ戦.csv	試合 試合 2024-04-07 00:00	処理済	2024/05/28 20:48	DTC Admin	↓ □
ゴローズ戦.csv	試合 試合 2024-04-14 00:00	処理済	2024/05/28 20:42	DTC Admin	↓ □
ランバース戦.csv	試合 試合 2024-05-05 00:00	処理済	2024/05/28 20:42	DTC Admin	↓ □
ミッシェルズ戦.csv	試合 試合 2024-05-12 00:00	処理済	2024/05/28 20:41	DTC Admin	↓ □

↓ : データのエクスポート  
□ : データの削除（イベントに紐づいているデータが削除されます）

# 選手単位で情報を管理・可視化します

## タブを切り替えることで表示データが変わるため、選手の情報を一元的に確認します

### 選手プロフィール

The image displays two screenshots of a web application interface for player profiles. The left screenshot shows a list view with a table of player data. The right screenshot shows a detailed view of a single player's profile.

**選手プロフィール (List View)**

名前	練習参加可否	疲労度	筋の痛み	睡眠の質	体重	試合出場時間
選手名 太郎	○	9	5	7	65.3	35h
選手名 太郎	○	9	5	7	65.3	35h
選手名 太郎	○	9	5	7	65.3	35h
選手名 太郎	○	9	5	7	65.3	35h
選手名 太郎	○	9	5	7	65.3	35h

**選手プロフィール (Detailed View)**

選手名 太郎	選手名 太郎	選手名 太郎	選手名 太郎
POS MF	POS MF	POS MF	POS MF
練習参加可否 ○ 疲労度 8	練習参加可否 ○ 疲労度 8	練習参加可否 ○ 疲労度 8	練習参加可否 ○ 疲労度 8
筋の痛み 7 睡眠の質 5	筋の痛み 7 睡眠の質 5	筋の痛み 7 睡眠の質 5	筋の痛み 7 睡眠の質 5
体重 65kg 試合出場時間 8h	体重 65kg 試合出場時間 8h	体重 65kg 試合出場時間 8h	体重 65kg 試合出場時間 8h

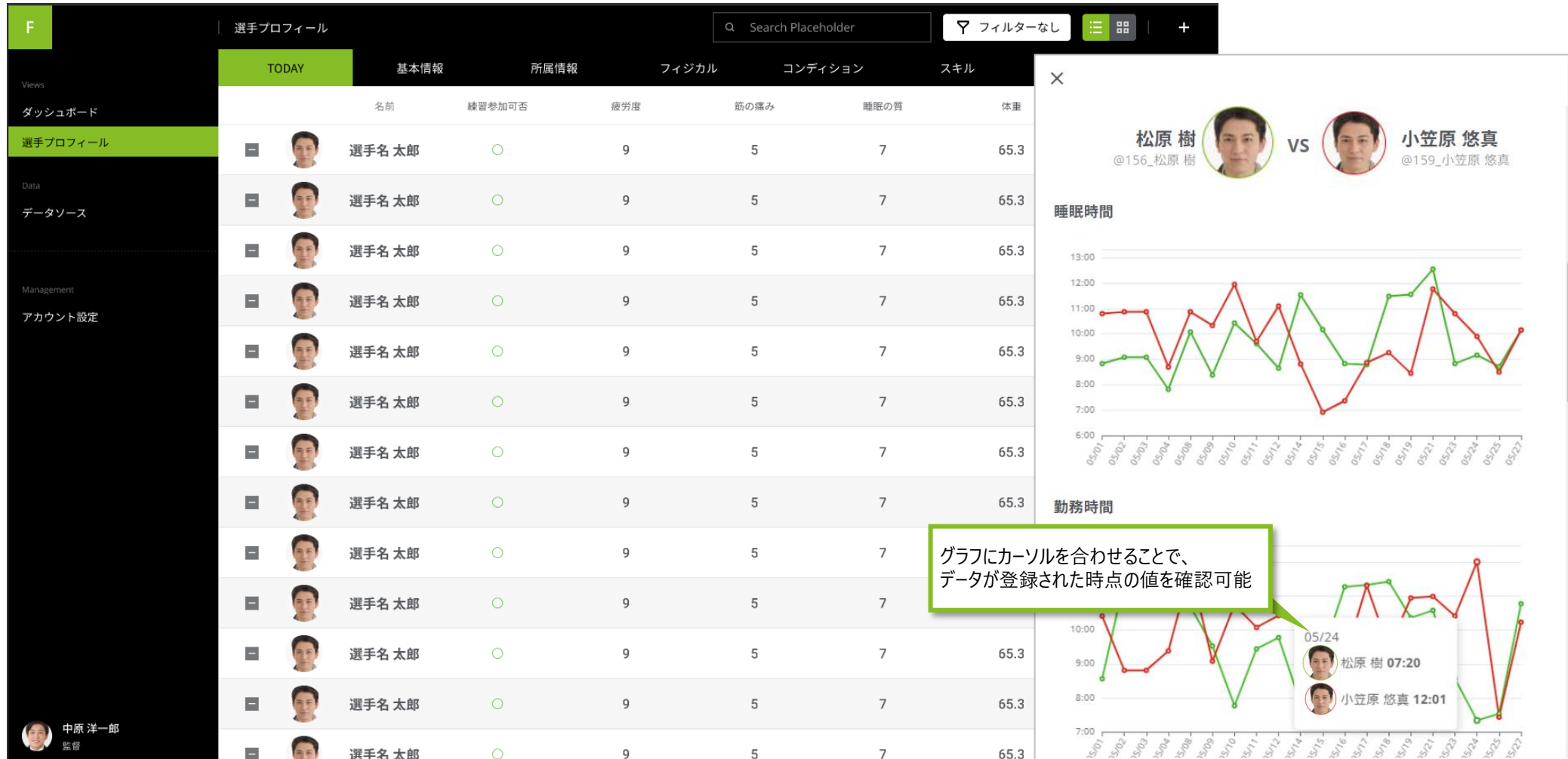
**Callouts:**

- Red box: **TODAY** (highlighted in the list view)
- Green box: **表示形式を切替可能** (highlighting the toggle icon in both views)
- Green box: **タブから表示するデータを切替可能** (highlighting the **フィジカル** tab in the detailed view)



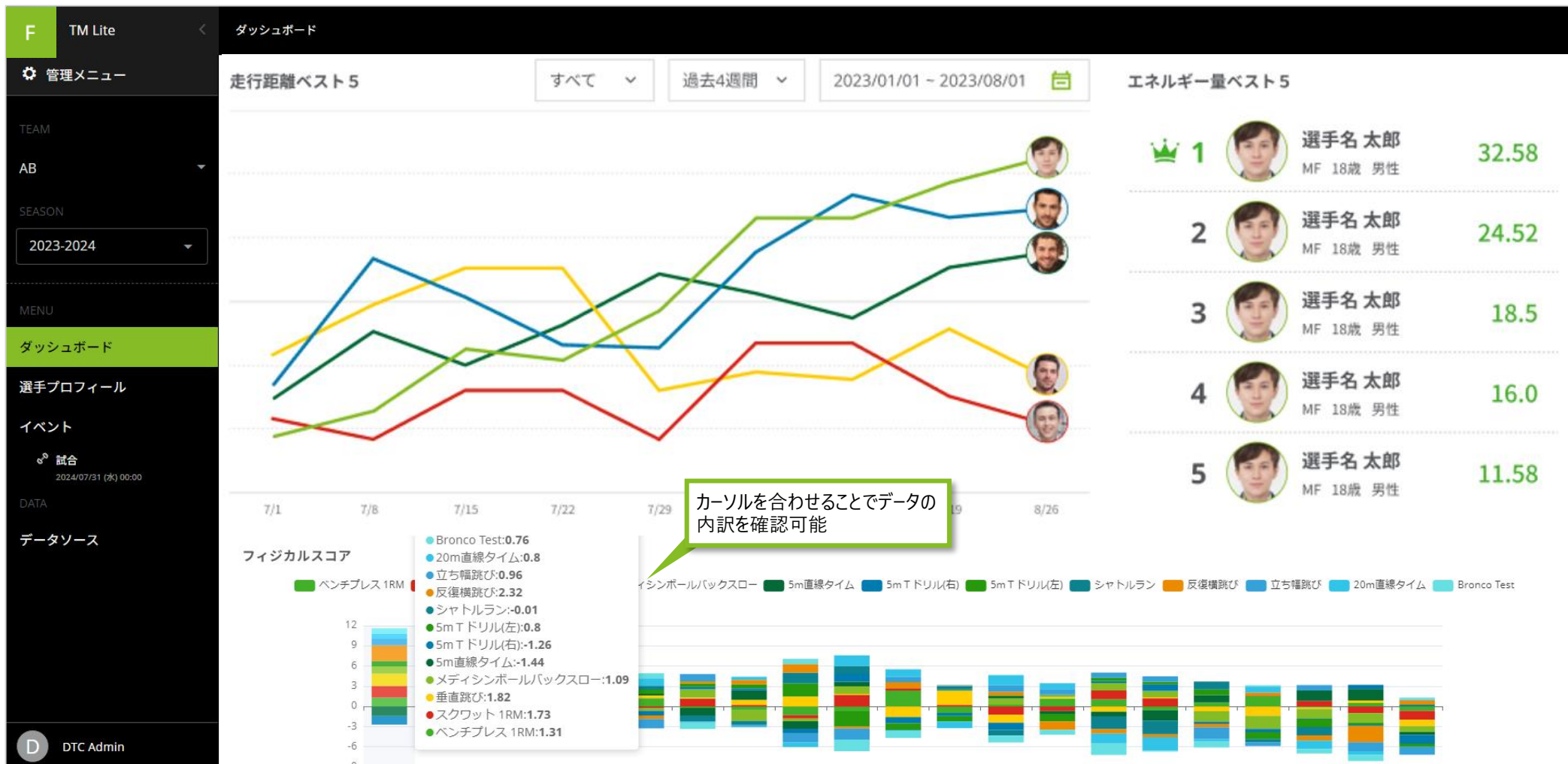
# 選手をクリックすることで、過去からの推移データを可視化します 同時に他選手を選択すると選手の比較が可能のため、より選手の「個性」を把握できます

## 選手プロフィール



# 選手情報をチーム全体のデータとして俯瞰的に表現することで、チーム全体や全体の中のひとつのデータとして選手情報を可視化し、チーム状況を考慮した選手のマネジメントを促進します

## ダッシュボード



# イベントでは、試合や練習、体調報告など、その日その時のデータを可視化します イベント起点でデータが可視化されることで、特定のタイミングのチームや選手状況を把握します

## イベント管理

**イベント（試合、練習、フィジカルなど）に対してフィルターが可能  
条件に応じたイベントを簡単に検索  
※フィルター項目を追加した場合、AND条件でフィルタリング**

**表示形式を切替可能  
カレンダー形式で表示することで、  
イベントそのものの管理も可能**

**イベントとイベントで  
データを比較可能**

タイプ	試合	練習	フィジカル	身体測定	体調報告	メディカル	ソーシャル	
試合	2024-05-05 00:00	2024/05/05 (日) 00:00 (1ヶ月前)	2024/05/05 (日) 00:00 (1ヶ月前)	--	20点	43回	16回	30回
試合	2024-04-14 00:00	2024/04/14 (日) 00:00 (2ヶ月前)	2024/04/14 (日) 00:00 (2ヶ月前)	--	15点	33回	27回	37回
試合	2024-04-07 00:00	2024/04/07 (日) 00:00 (2ヶ月前)	2024/04/07 (日) 00:00 (2ヶ月前)	--	15点	33回	27回	37回
試合	2024-03-10 00:00	2024/03/10 (日) 00:00 (3ヶ月前)	2024/03/10 (日) 00:00 (3ヶ月前)	--	--	--	--	--
試合	2024-03-03 00:00	2024/03/03 (日) 00:00 (3ヶ月前)	2024/03/03 (日) 00:00 (3ヶ月前)	--	--	--	--	--
試合	2024-02-11 00:00	2024/02/11 (日) 00:00 (4ヶ月前)	2024/02/11 (日) 00:00 (4ヶ月前)	--	--	--	--	--
試合	2024-02-04 00:00	2024/02/04 (日) 00:00 (4ヶ月前)	2024/02/04 (日) 00:00 (4ヶ月前)	--	--	--	--	--
試合	2024-01-14 00:00	2024/01/14 (日) 00:00 (5ヶ月前)	2024/01/14 (日) 00:00 (5ヶ月前)	--	--	--	--	--
試合	2024-01-07 00:00	2024/01/07 (日) 00:00 (5ヶ月前)	2024/01/07 (日) 00:00 (5ヶ月前)	--	--	--	--	--

日	月	火	水	木	金
28	29	30	1	2	3
5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24
26	27	28	29	30	31
2	3	4	5	6	7

**vsランパーズ戦(Away) VS vsミッシェルズ戦 (Hom...)**

**トピック**

- 【目標】 20得点以上   【目標】 20得点以上
- 【目標】 シュートの機会40回以上   【目標】 シュートの機会40回以上
- 【結果】 シュート機会・得点の目標達成。ディフェンス...   【結果】 シュート機会の目標達成。得点数は未達。得点...
- 【備考】 試合中のプラン修正に備え、練習のプランニング...   【備考】 吉田が腕に違和感があり、検査が必要

**結果サマリー**

項目	値	目標
得点(フィールド)	20	19
シュート(フィールド)	43	40
得点(7m)	20	20
シュート(7m)	41	41

# あらゆる場所からアクセスし情報をキャッチするために、タブレット、スマートフォンにも対応しています

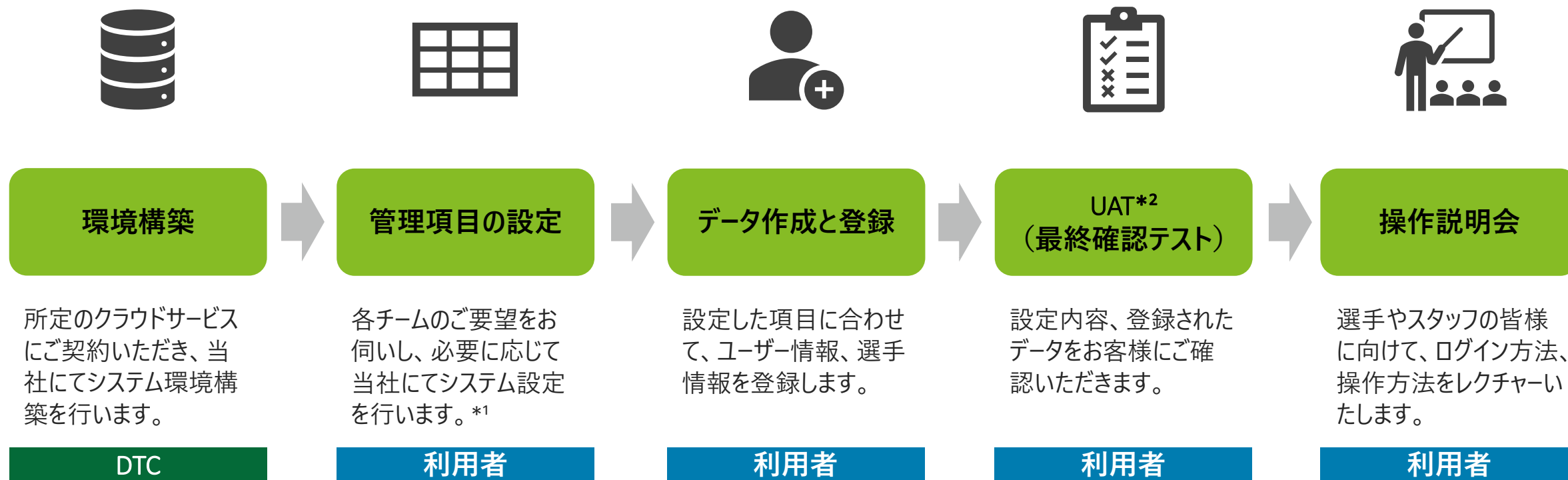
## 各種デバイス対応



# 導入までのスケジュールとプラン

# サービスを利用するまでの流れは以下の通りです 不明点がある場合は、サポート窓口にお問い合わせいただき、対応いたします

## サービス利用までの流れ

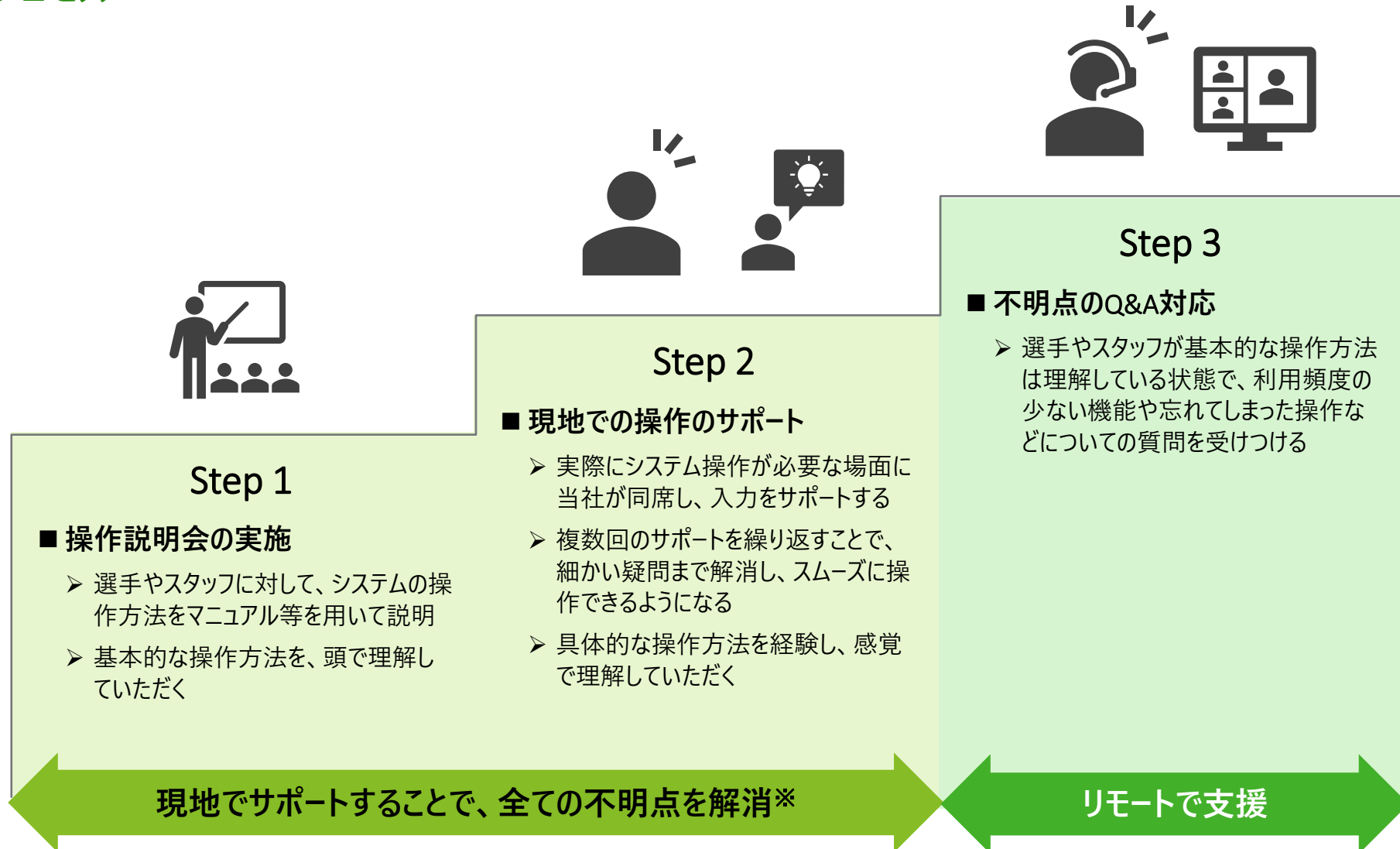


\*1当社にて対応する場合、システム利用とは別料金となります

\*2 UAT (User Acceptance Test)：最終確認テスト

# 必要に応じて、当社から段階的なエンドユーザー教育プロセスで、システムの効果的な浸透や促進のサポートをいたします

## システム教育プロセス

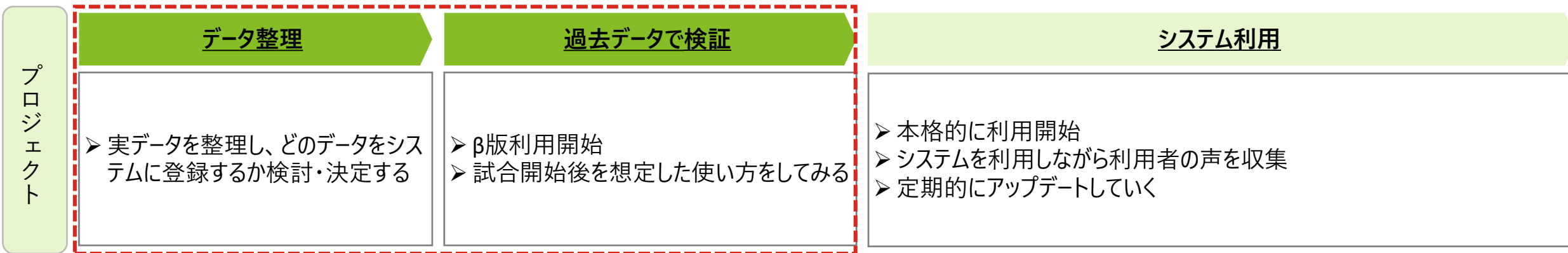


# システムに登録するデータの整理や登録作業の支援も可能です\*

※システム利用とは別料金となります

## 導入スケジュール

### ご提案スコープ





# Appendix

# 日本を代表するF1ドライバー 佐藤琢磨氏がプリンシパルを務めるレーシングスクールでもご活用いただいています

## 導入事例

デロイト トーマツ、スポーツ選手や生徒の育成・強化をサポートするタレントマネジメントシステムを開発 | ニュースリリース | デロイト トーマツ グループ | Deloitte



ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 プリンシパル 佐藤琢磨氏（チップ・ガナッシ・レーシング）のコメント

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿ではスクール生の「将来性・伸びしろ」を重要視しています。しかし、経験値の異なる生徒たちが混在するなかでの正当な評価は容易ではなく、熟練講師や現役トップドライバーである講師たちも頭を悩ませています。また、「タイム計測」や「模擬レース結果」だけでなく、「取り組み姿勢」といった評価根拠となる情報も膨大な量であり、データ整備には多大な手間を要してきました。

そういった課題を解消するために、本システムの導入を決めました。走行結果、評価データはもちろんのこと、スクール生と講師の会話までデータベースに残せる仕組みで、講師陣が行う「将来性・伸びしろ」評価をサポートします。生徒の成長や姿勢を現場で見続けている講師陣の意見はとて重要で、そこにデータ解析による科学的な根拠の裏付けが加わることで、これまで以上に精度の高い評価に繋がるものと確信しております。

また、ユーザーインターフェイス等、デジタル化におけるシステム導入の課題においても、デロイト トーマツのサポートにより「わかりやすさ」に拘ったプロダクトへと改良を重ね、無事に運用を開始することができました。

今後は、本システムを基盤とした、より精度の高い「データドリブな育成」を目指しています。まずは、あらゆる要素をデータ化し蓄積された28年分のデータと掛け合わせて、「将来性・伸びしろ」予測を実現していきたいと考えています。



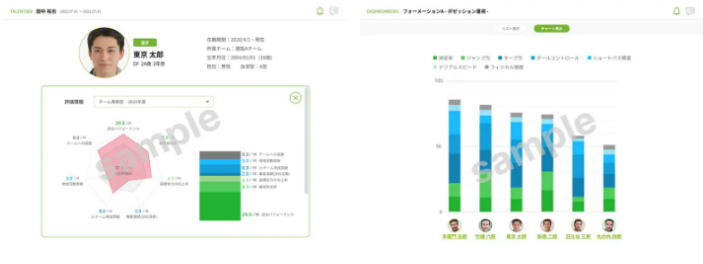
### ニュースリリース

## デロイト トーマツ、スポーツ選手や生徒の育成・強化をサポートするタレントマネジメントシステムを開発

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿に初めて導入、スポーツ業界全体のデジタル・データ活用底上げをめざす

### スポーツ分野に特化したタレントマネジメントシステムの特徴

- スポーツ分野での人材育成に特化したデータ入力により選手のフィジカル・メンタル・勝敗等の様々な情報を可視化することで、データを用いて一人一人の強みを活かした配置・育成が可能。
- 蓄積されたデータを時系列に管理することで、経年の上達度を見たり、選手・生徒同士の比較、戦力の分析をしたりすることが可能になり、選手・チームのパフォーマンス向上のための指導や試合の戦略立案にも役立つ。
- Slack等コミュニケーションツールとの連携も容易にできる設計のため、フィールドや国内外どこでもデータの参照ができ、データを活用したチーム内のコミュニケーションを円滑にする。



個人ページのサンプル。  
試合成績以外の観点での人材評価を可視化。

各個人を同じ指標で適正に比較し、作戦、フォーメーションの参考にすることができる。

\*上記画像サンプルはHRSとは関係のない他スポーツ分野での活用イメージです。

【ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿について】

運営会社：ホンダモビリティランド株式会社  
所在地：〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 鈴鹿サーキット  
代表取締役：斎藤 毅  
開校：1992年

F1をはじめとする二輪・四輪のモータースポーツを開催してきた鈴鹿サーキットでは、時代を先取りし、技術のみならず精神的にも人間的にも世界のトップクラスとして通用するライダー・ドライバーの育成を目的として1992年に「鈴鹿サーキットレーシングスクールジュニア（現HRS鈴鹿Motoクラス）」を開校。

2022年、国内外のトップドライバーを目指すライダー・ドライバーの育成を、今まで以上にHondaの意思を入れ、スクールから実践までを一貫通貫で指導できる体制を作る決意の表れとして、スクール名称をホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿へ変更。常時50~70名が所属し、トレーニングを受けている。

デロイト トーマツ は、スポーツにおいて一番の資産となる「ヒト」のマネジメントをデジタルアセットを用いて支援することで、スポーツ業界全体のデジタル・データ活用を底上げすることを目指しています。

今後は、日本国内に留まらず、全世界すべてのスポーツチームに本システムを活用いただき、「スポーツタレントマネジメント」のグローバルスタンダードを発信してまいります。

# デロイトトーマツグループの最新情報

Please follow and subscribe



公式アプリ



Facebook



Twitter



LinkedIn



YouTube



Instagram



各種メールマガジン

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ リスクアドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約2万人の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト、[www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュート マツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は [www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about) をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、リスクアドバイザリー、税務・法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの45万人超の人材の活動の詳細については、[www.deloitte.com](http://www.deloitte.com)をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、デロイト トウシュート マツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。DTTLならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲はこちらをご覧ください  
<http://www.bsigroup.com/clientDirectory>

Member of  
Deloitte Touche Tohmatsu Limited